

岐阜県職員倫理憲章 中山間農業研究所実行計画

平成18年7月に発覚した不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すために平成18年12月28日に制定した「岐阜県職員倫理憲章」の内容を実践していくために、下記のとおり中山間農業研究所実行計画を定めます。

平成30年4月1日

1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・ 法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- ・ 不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

【取組事項】

- 関係農業団体等、職務上利害関係がある者に対する対応については、「岐阜県職員倫理規程」を常に意識するよう職員に徹底するとともに、職務上面談が必要な場合は複数職員で対応することを原則とします。
- 過去の不祥事案を題材に、職場研修を実施し、公務、私生活を問わず、「県民の信頼を裏切る行為」に対しては、厳しい処分が課されている現実について、職員の認識を深めます。

2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- ・ 経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を上げるよう努めます。
- ・ 前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

【取組事項】

- 現在取り組み中のEMSを活用し、事務用品の在庫管理を十分行うとともに、再利用の促進による事務用品購入経費の削減に努めます。また両面コピーや縮小コピーなどの活用によるコピー使用枚数の削減などにより、経費削減を徹底します。
- 管理職員による組織マネジメントによる職員の時間管理意識の徹底や創意工夫による業務の効率化やフレックスタイムの有効利用等により、時間外勤務を縮減します。
- 建物等の維持管理・機械等の管理は、日頃から点検やメンテナンスに心がけ、トラブル発生時は速やかに対応することで対応経費や労力を最小限にとどめます。
- 研究に係る経費は、最小の執行で最大の効果を上げるよう努めます。
- 執務室の冷暖房は必要最小限にとどめると共に、公用車や農業機械もむやみにスロットルを上げず、また、急激な操作を控える等のエコドライブやエコ使用に努め、電力、燃料等の使用量削減に努めます。

3 県職員としての自覚を高め、質の高い行政サービスを提供します。

- ・ 専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の修得に努めます。
- ・ 法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧な業務を進めます。

【取組事項】

- 職員が健康を保ち常に業務に励むことで、研究開発や技術支援を推し進めます。
- 行政改革の更なる推進、効果的な事業推進などに向けて、新聞やインターネット等から国や他県の動向などの情報収集を積極的に行います。
- 全ての職員が業務に関連した研修会等に参加して、専門的能力・知識を習得するなど、常に自己研鑽に努めます。
- 農業者の農業技術相談を始め、食育講師や農作物生育情報発信などを積極的に行います。
- 気象災害や突発的・緊急に発生した事案について臨機応変に対応し、速やかな解決を図ります。

4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・ マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・ どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

【取組事項】

- あらゆる不測の事態発生時に迅速な情報伝達を図れるよう、所属内の緊急連絡網を整備し、情報伝達の迅速化に努めます。
- あらゆる情報に常に細心の注意を払い、いち早く不祥事等の危機を察知し、上司への迅速な状況報告と適切な対応により問題発生を未然に防止します。
- 農業機械・器具の取扱いにあたっては、事前点検と取り扱いに留意し事故防止に努めます。
- 農薬、試薬等毒劇物の取扱いにあたっては、保管状況の点検を必ず実施し、盗難や不正使用等に努めるとともに、その使用にあたっては環境に負荷を与えないよう万全の注意を払います。
- 貯蔵する燃料等に関しては、常に点検を行い外部流出事故や火災等を防止します。

5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。

- ・ 正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
- ・ 徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

【取組事項】

- 問題発生時には、上司等への報告および情報収集・分析や県民への情報提供を速やかに行います。
- 問題が発生した原因の究明や再発防止策の構築にあたっては、多面的・多角的に検討を行います。

6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- ・ 自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- ・ 不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

【取組事項】

- 本所・支所職員で構成される企画会議や職員会議を定期的実施し、業務遂行上の問題点や業務の進捗状況等について職員間の情報共有を図るとともに、課題やその解決方法等について話し合い、迅速に解決するよう努めます。
- 良い情報はもとより、不都合な情報こそ上司への報告を速やかに行います。
- 職員が気軽に議論、意見具申できる明るい職場づくりに努めます。

7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- ・ 地域での活動に積極的に参加します。
- ・ 環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

【取組事項】

- ボランティア活動等に積極的に参加します。
- 年次休暇等を取得しやすい雰囲気や環境とし、年次休暇等の取得日数を増加させ、職員が地域活動等に参加しやすくします。
- 職場周辺のゴミ拾い等を行い地域の環境美化に努めます。

8 県民との対話を大切にし、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組みます。

- ・ 県政全般にわたる情報を分かりやすく、積極的に公開します。
- ・ 積極的に現場に出かけ、県民の意見や考えをお聴きし、政策・施策に活かします。

【取組事項】

- 「ぎふ農業・農村基本計画」の達成を研究の重要な柱とします。
- ホームページの随時更新や岐阜県中山間農業研究所ニュースの発行により、県民に適時・的確に研究成果を提供します。
- 農業生産者の集会等に積極的に参加して、意見・提言を聴取し、即時対応可能なことは対応します。
- 電話や訪問による農業相談等は親切・丁寧・的確・迅速に心がけます。
- 研究課題には、地域の声を反映させ、役に立つ技術開発や技術支援を行います